

岩手県第二北上中部工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

本県の内陸工業地帯の一つである北上市を中心とした北上中部地区の工業団地のうち、岩手中部（金ケ崎）工業団地及び北上南部工業団地へ工業用水を供給するため計画され、昭和55年度から第二北上中部工業用水道として給水を開始したものである。

○事業の経緯

第二北上中部工業用水道は、岩手中部（金ケ崎）工業団地及び北上南部工業団地内の立地企業へ工業用水を供給するため、52,000m³/日を北上川水系夏油川に建設された入畑ダムに水源を求め、浄水処理したうえで岩手中部（金ケ崎）工業団地内の立地企業に対し、29,760m³/日の供給能力を有し、昭和56年1月に一部給水を開始した。北上南部工業団地内の立地企業に対しても18,600m³/日の工業用水を供給する計画があるが、現在休止中である。

また、半導体製造企業の進出に伴い、濁度等のより低い良質な処理水を企業から求められ、10,000m³/日のろ過水を同団地内の企業へ供給する金ケ崎ろ過施設（第一期）を建設し、昭和60年1月に給水を開始した。さらなるろ過水の需要要望に対応するため、3,000m³/日の施設（第二期）を増設し、平成4年10月から給水を開始した。

○ユーザーの概要

(平成20年4月1日現在)

業種	給水件数	基本水量 (m ³ /日)
化学	1	3,600
電子部品・デバイス	1	12,000
輸送用機器	2	148
一般機械器具製造	1	16
ガス	1	300
合計	6	16,064

○工業用水道施設の概要

第二北上中部工業用水道は、一級河川北上川右岸側に取水塔を設け、取水ポンプで浄水敷地内へ導水している。凝集沈殿処理後はポンプ井に導水し、送水ポンプで約7km先にある金ケ崎町の金ケ崎配水池へ送水している。配水池からは自然流下で配水している。

また、そのうち最大13,000m³/日はろ過施設（金ケ崎ろ過施設）へ配水することができる。更に良質なろ過水として、砂ろ過処理後は配水池に貯水し、配水ポンプ及び自然流下で供給している。

○事業の特徴

第二北上中部工業用水道の各施設は通常無人となっており、第一北上中部工業用水道敷地内の企業局県南施設管理所にて集中監視制御を行っている。

○岩手県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=84&ik=3&pnp=17&pnp=84>

第二北上中部工業用水道管布設概要図

岩手中部（金ヶ崎）工業団地



北上南部工業団地

